

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 050	提案機関名 小坪漁業協同組合
要望問題名 海ぶどう種苗生産について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 当漁協では、令和3年より、海ブドウ陸上養殖に取り組み始め、昨年は70万円の収益があり、海ブドウ養殖の手応えを掴んでおります。 一方で、海ブドウ生産でネックとなっているのは、冬場の低水温を凌げないため毎年種苗を調達するのですが、種苗販売単価が安定せず、元々沖縄が本場の海藻なので、水温が低い神奈川県でも成長が良い種苗があれば高水温で海ブドウ養殖に好適な現状の7月から10月にかけての養殖期間を拡充して、更なる増産・増益が見込まれます。 そこで、海ブドウの種苗生産技術開発と、比較的低温下でも育つ品種改良をお願いします。	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター    ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考 海ブドウは、海水のかけ流しがあれば養殖でき、小坪の他、長井、走り水でも養殖漁家がございます。種苗生産成功の折には、生産漁家も更に増えると思われしますので、よろしくお願いいたします。	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画研究部
対応区分	①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等 海ブドウの自然分布は南西諸島など熱帯から亜熱帯域であり、比較的温暖な西日本を含め温帯域での分布は見られないことから、本県で越冬可能な性質を持つ海ブドウを開発することは極めて難しいと考えます。一方で、加温により母藻を越冬させることは可能と考えられますので、本件の研究課題設定は行わないこととします。 なお、海ブドウの養殖につきましては、小坪地区をはじめ横須賀市内や小田原市内の漁業者のほか、藤沢市内に生産業者がおられ、県下に合計で4経営体が行われています。 当所では、海ブドウ養殖方法のマニュアル化を指導するとともに、関係する情報の収集と提供を随時行っているほか、各生産者の連携を図り情報交換の促進等についても支援しています。			
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			